

ペピータくらぶ×成蹊大学
ダンス・パフォーマンスプロジェクト「マノ・マノ・ムーチョ！」からのお便り

マノマノ通信

第3号

2022年5月発行

ペピータくらぶ ご家族のみなさま

こんにちは、講師の大西です。最近、日が延びてきたせいか、夜になってもベランダの窓を開けて、何となくカフェのテラス？みたいな気分になります。

家のベランダを開けていると、お隣から声が聞こえました。外国語のようです。前からお隣さんが海外ルーツのご家族かなと知っていました。しかし、どこの国の言葉かも分からず、縁遠く感じていました。ところが、最近ベランダを開ける習慣がついたことで、一変しました。

ある日の夕方、背中を半分ベランダへよりかけていると、お隣さんのベランダの窓が開き、お家から女性（お母さま）が出てきました。間髪入れずに目が合ってしまう、私は思わず会釈だけしました。すると向こうから「コンニチハ」と言ってくれました。私も「コンニチハ」と返しました。それから、お隣さんへの気持ちの距離が少し変わった気がしました。

ご家族には、3人兄妹の子どもたちがいるようです。表の道で賑やかに遊んでいる声が聞こえます。相変わらず何語なのか分からないなと思っていると... おや？今、一瞬だけ聞き覚えのある言葉が聞こえたぞ。しばらく聞いていると、もう一度。あ、また。他は全く分からない、未知の言葉に聞こえるのに、その一言だけは知っていました。何と言っていたのでしょうか？

「ウイ！」「ウイ」「ウイ、ジュ...」そう、フランス語で「yes」という意味の「oui」だったのです！その瞬間、私の心の中に引っかかっていた何かがほろほろと解けた気がしました。

はじめは関心もなく縁遠く感じていたお隣さんの存在が、ベランダの窓を開けたことで、予期せず「じぶんごと」とつながってしまいました。その瞬間から、「自分には関係のないことだ」と片付けていた言葉が不思議と聞こえるようになったのです。

今回は、直接活動とは関係のないお話し、だけれど、ちょっぴり活動ともつなげて考えてしまったお話しでした。それでは、4月の活動とレポートです、どうぞ！

2022年5月 大西 健太郎

4/13 Report

どうすればよかったのか

今回は参加者の方が慣れてきて、今までよりスムーズに活動することができました。手と手の会話では、今まで声を出しながらやっていた方が声を出さず、手と手のみの会話をおこなうことができました。

手の会話の際に参加者の方が急に寝てしまい反応がなくなってしまったとき、どうすればよかったのかについて悩みました。休憩を促せばよかったかなと後になって思いました。次に同じような場面があったら、本人に質問してみようと思いました。解決法は探りながら見つけていけたらいいと思いました。（高野）

新鮮なコミュニケーションをとる？

第3回はいつものメンバーだけでなく、ペピータ職員の佐藤さんやご家族の方にも参加していただき、今まで私たち学生と大西さんとペピータの方たちで完結していた表現の輪が広がったように感じました！本番ではこの輪をより広げて皆で一つの表現を作り上げていくことができたら素敵だなと思います！

3回目となり、私たちにも利用者の方にも慣れが出てきましたが、マンネリ化した回にしないためにもお互いの気持ち、変化を感じ取って、そのときどきで違う新鮮なコミュニケーションをとるということを意識しながら今後も活動を続けていきたいと思えます！（落合）

写真撮影： 高屋敷 大洋、矢田 正成、
成蹊大学「マノ・マノ・ムーチョ！」撮影班
(表面、裏面ともに)



▲ ペアになってストレッチ。お互いの呼吸が合わない、痛くて悲鳴が上がります ^^



▲ 言葉を使わず「手」の表情や動きで会話する様子。



▲ 活動の終盤、いくつかの要素を混ぜ、全員が力を合わせてパフォーマンスを作っている様子。

4/27 Report

様々な人がいることで、出会い方も増える

今回は自分の表現したいことと、相手の方の表現のしたいことがお互いに表現できたのかなと感じることが多かったです。

前回初めましてだった方々が2回目の手の会話になって、前回とは違った挨拶の仕方になったり、会話になったりと変化が出たこともとても面白かったです。

また、共通の動きをすることで、観ている人も巻き込みやすい活動であるということを再認識しました。様々な人がいることで、それだけ出会い方も増えますし、挨拶も増えます。一人一人違うということは、毎日が大切な手の会話であると感じました。新たな観点から、一回一回を大切にしようと考えられ、とても面白かったです。(朝倉)

◀写真(左上) ペアに分かれてセッション。終わったあとは、お互いの感想を伝え合います。

◀写真(左中下) ペアを交代してもう一回! 別のペアを組むことで、いろんな人の反応に触れる。

▼写真(下) 中央で踊る2人とその周りからお花紙の合いの手が飛び交う!



戸惑いや停止も表現する

前回の訪問では「手の会話」をしている最中に周りからの見え方が気になってしまい、初めて活動の中で異質な感じを受けたのですが、今回はそのような戸惑いなく表現ができました。この変化は、今回の活動で「ひじから下だけで表現してみよう」といった制限があったからこそだと思います。「自由な表現」という言葉によるプレッシャーがあったのかも…。

最後に参加者の方と大西さんがみんなの中心で手の会話をした際の緊張感は非常に印象的でした。身体の動きに変化はなくても、心の中ではぐるぐると感情が変化しているのでは、と想像してみました。交流をするうえで戸惑い、動けなくなってしまうときがあってもそのまま身体に出してみればいいんだと思い直すことができました。

手の会話にしかない特徴、つまりこのように戸惑いや停止がコミュニケーションの途中に表現できるんだということが発見できたことが今回の活動の大きな意味だと思います。

(角屋敷)

『お披露目会』を開催します!!

全6回にわたって創ってきた活動を発表します!
ご家族、ご友人のみなさんと楽しむお披露目会です。

- ◎開催日: 6/19 (日)
- ◎時間: 13:00 ~ 14:00
- ◎場所: ペピータスタジオ
- ◎定員: 10名程度

お申込み、お問い合わせは、ペピータまでご連絡ください。